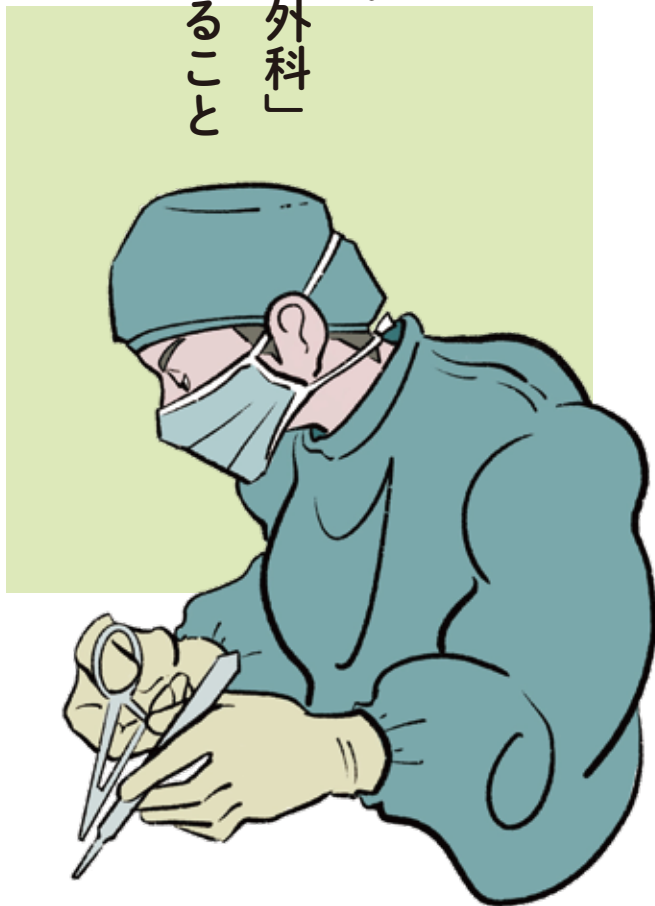


東中だより

「外科・
消化器外科」
にできること



index

- P1 新病院長が就任しました
- P2 今とこれから、「外科・消化器外科」にできること
- P3 新任医師のご紹介

新病院長のご紹介

PROFILE

ふじわら みちたか
藤原 道隆

名古屋大学医学部附属病院で、長年、消化器外科診療に従事する一方、マネジメント面では、教授として医療機器安全管理などを担当した。また、xR センターを立ち上げ、VR 医療応用研究にも取り組んできた。



● ごあいさつ

2025(令和7)年4月より、病院長に就任いたしました藤原道隆でございます。

私は、1987年に名古屋大学を卒業し、消化器外科学を専門とし手術を行う一方で、機器の開発、新しい手術教育法としてバーチャルリアリティ(VR)の利用などを工学系や情報系の方々と研究してまいりました。名古屋大学に32年間在籍しましたが、最後の数年は、より広い領域のVR医療応用、アートやデザインと医療、そして、附属病院のマネジメントとしては医療機器管理、臨床工学などに従事しておりました。

当院は、1950年代に公立学校共済組合の教職員の健康管理を目的に全国8病院のひとつとして設立されました。メンタルヘルスセンターや健診部門が充実しているのは設立以来の職域病院機能が継承されているためです。設立後、診療科の増設、病床の増加を重ねた結果、各務原市とその周辺の地域住民の健康を守る市民病院的な役割も強くなっております。このため、地域の医療機関からご紹介いただきました患者さんや救急搬送された患者

さん向けの急性期医療を中心に診療を行ってきた当院ですが、近年の急激な少子化と高齢化、「地域医療構想」、「働き方改革」に加え、諸経費の高騰など、病院を取り巻く環境が激変しております。

こうした状況ではありますが、2000年以來の当院の理念「最高の誠意、最善の医療」を継承しつつ、安全で透明性を確保した医療を最重要とし、多様性を重んじ地域に開かれた病院を目指します。地域の医療、福祉、介護を担う施設の皆様、行政・教育機関、さらに、患者や住民の皆様と連携しながら、地域のなかで当院が最適な機能を発揮できるように、職員一同最大限の努力をいたします。

また、市民のみなさまに、医療や介護、さらに健康について楽しみながら理解を深めていただくエリアを整備していく計画です。私の専門分野のひとつであるVR技術やアートのこの領域における展開などもご紹介できようかと考えております。有事の際に頼っていただく病院であるのは当然ですが、日常から交流できる施設も目指したいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

Q.VRってなんですか？

VRとは、Virtual Realityの略で、「仮想現実」と訳されています。コンピュータで造り出された人工環境を現実のように知覚させる技術で、最近多いのは、HMD(ヘッドマウントディスプレイ)を装着してその場にいるような体験をする方法ですが、他のさまざまな手法もあります。

VRと聞くとゲームやエンターテインメントが思い浮かぶかもしれませんが、近年は医療や教育など様々な業務分野に利用範囲が広がっております。名古屋大学xRセンターでは医療分野での応用を研究していますが、東海中央病院に、連携した体験施設を整備する予定です。



令和7年4月から副院長に就任した末岡第一外科部長から今後の「外科・消化器外科」について紹介いたします。

副院長就任のごあいさつ

日頃より当院の診療にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。昨年東海中央病院に赴任し、地域の先生方と連携しながら診療に取り組んでまいりました。今後もできる限り地域のニーズに応えられるよう努力を続け、地域医療の発展に貢献できればと考えております。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



今とこれから、
「外科・消化器外科」
にできること
副院長・第一外科部長 末岡 智

2024年度に「外科・消化器外科」で取り組んだことを教えてください

昨年度は安全な手術治療を提供することを最優先に科の運営を行ってまいりました。特に病棟、術前カンファレンスの内容を充実させ、患者様の治療方針をチーム全体で慎重に検討する体制を徹底しました。今年1月からは麻酔科医師が常勤となり、より高度で複雑な手術にも十分に対応できる基盤を整えました。幸

いにも術中の合併症は1件も発生せず、安定した治療成果をあげることができました。さらに過去の実績が評価され、胃癌学会認定施設Bの認定を取得することができました。今後も患者様に信頼される医療を提供してまいります。

胃癌学会「認定施設B」に認定されました！

日本胃癌学会は、質の高い胃癌治療を広く社会に提供するために、2023年4月より施設認定制度を発足しました。この制度では、胃癌に対して手術・内視鏡治療・抗がん剤治療などの分野で一定以上の実績や人員、設備を持ち、高度で専門性の高い胃癌治療に対応

可能な施設のみが認定されます。当院がこの制度に基づき認定を受けたことは、これまでの診療体制や実績が評価された証といえます。



今後、取り組んでいきたいことはありますか？

当院外科では今後、悪性・良性疾患の両面で質の高い手術を提供すべく取り組んでまいります。腹腔鏡システムをオリンパス社の最新機種「VISERA ELITE III」に更新し、より高精細な映像下での手術が可能となりました。加えて、ICG 蛍光法を用いた血流評価も導入し、がん手術における安全性と精度の向上が期

待されます。また、夏頃には手術よりも体への負担の少ない痔に対する4段階注射法を導入予定です。今後はこれらの技術を活用し、精緻ながん手術の実現に加え、そけいヘルニアなどの良性疾患にも積極的に取り組んでまいります。

Q. ICG 蛍光法ってなんですか？

蛍光物質であるICG(インドシアニングリーン)を血管内に注入し、近赤外線で見視化することで、血流や組織の状態を評価する技術です。

特に、手術中に、体にかかる負担を最小限に抑えな

がら、血管の損傷や、閉じれていない傷口をすばやく確認することに役立ちます。



New recruit!

新任医師のご紹介

東海中央病院に4月から入職した新任の医師をご紹介します。



はせがわ ひろたか

長谷川 裕高 外科・消化器外科 外科医長

4月より当院外科に赴任となりました。前任の中濃厚生病院では、消化器癌（おもに大腸癌や胃癌）や良性疾患（胆石症、単径ヘルニアなど）に対する手術をメインに担当して、特に腹腔鏡手術を得意としておりました。引き続き、安心・安全な手術を心懸けて参ります。よろしくお願い申し上げます。

資格等（出身大学／医学部卒業年） 日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 麻酔科標榜（名古屋大学／2009年卒）

おおはし わたる

大橋 渉 循環器内科 内科医長

皆様はじめまして。以前は愛知県厚生連江南厚生病院にて7年間勤務しておりました。循環器内科医として、まだ修行中の身ではございますが、少しでも各務原の地域医療に貢献できるよう精進いたします。

資格等（出身大学／医学部卒業年） 日本内科学会：認定内科医 臨床研修指導医講習会修了 緩和ケア研修会修了（宮崎大学／2018年卒）

べっぶ あつし

別府 淳 消化器内科 内科医員

消化器内科の別府 淳と申します。本年4月より赴任して参りました。

診療を通じて地域の皆様に信頼していただけるよう尽力しますので、よろしくお願いいたします。

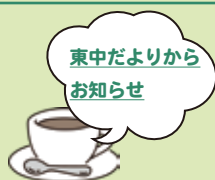
資格等（出身大学／医学部卒業年） 藤田医科大学／2020年卒

ほり あやみ

堀 絢美 歯科口腔外科 歯科口腔外科医員

はじめまして。堀 絢美と申します。令和7年4月より東海中央病院 歯科・口腔外科にて勤務させていただきますことになりました。口腔内の疾患は全身に与える影響が大きいことが謳われています。諸先生方の指導を賜りながら、患者様に寄り添った丁寧な診療を心掛けていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

資格等（出身大学／医学部卒業年） 朝日大学／2023年卒



東中だよりから
お知らせ

東中だよりのバックナンバーが HP から閲覧できます！

新しい取り組みの紹介、病院にまつわるお金のこと…様々なご来院される方に向けたお役立ち情報を発信しています。是非ご覧ください！



HP で発信中！

